

PRESS RELEASE

2020年2月12日

アッヴィ、「ドレス・フォー・ユア・デイ」(その日の服装をあなたがきめる)を正式導入し、ガイドラインを制定

- 2019年9月、「ドレス・フォー・ユア・デイ」を正式導入
- 2020年2月、「ドレス・フォー・ユア・デイ」ガイドラインの運用開始。原則を定め、それに基づく服装の選択を促し男女別の枠組みを撤廃
- アクティビティ・ベース型・ワークスペースとドレス・フォー・ユア・デイの導入により、働き方がポジティブに変化。創造性や効率性を発揮できる環境づくりを促進

アッヴィ合同会社(本社:東京都港区、社長:ジェームス・フェリシアーノ)は、2020年2月1日付で、ビジネスカジュアルガイドラインを廃止し、新しく制定された「ドレス・フォー・ユア・デイ(以下、DFYD)」ガイドラインの運用を開始したことをお知らせします。DFYDは、2019年6月1日から8月31日までの試行導入を経て、同年9月に正式導入されました。

DFYDガイドラインは、服装を規制するためのルールではなく、適切に選択するための原則とヒント(考慮するポイント)を定めたものです。旧ガイドラインでは、男女別に服装例が示されていましたが、ダイバーシティ&インクルージョンの観点から、新ガイドラインではその枠組みをなくし、他者からビジネス上、不適切だととらえられやすい服装について例示しました。

アッヴィは昨年2月の東京本社オフィス移転を機に、アクティビティ・ベース型ワークスペース(以下、ABW)を導入しました。移転後に実施した社内調査で、「自分の仕事に合わせていろいろな環境で仕事ができることが、こんなに効果的であるとはあまり考えていなかった」など、ABW導入後の職場環境を肯定的にとらえていることが示されました(満足+やや満足83%)¹。さらに、DFYD継続の際に実施した調査では、「自由な服装の快適性により、仕事に集中できるようになった」、「リラックスできる服装で業務を行うのは、健康面でも良い効果を感じる」などのコメントが挙げられ、社員は自分らしく働くことができ(5段階評価で4.09)、仕事がしやすくなった(同4.34)と実感していることがうかがえます²。

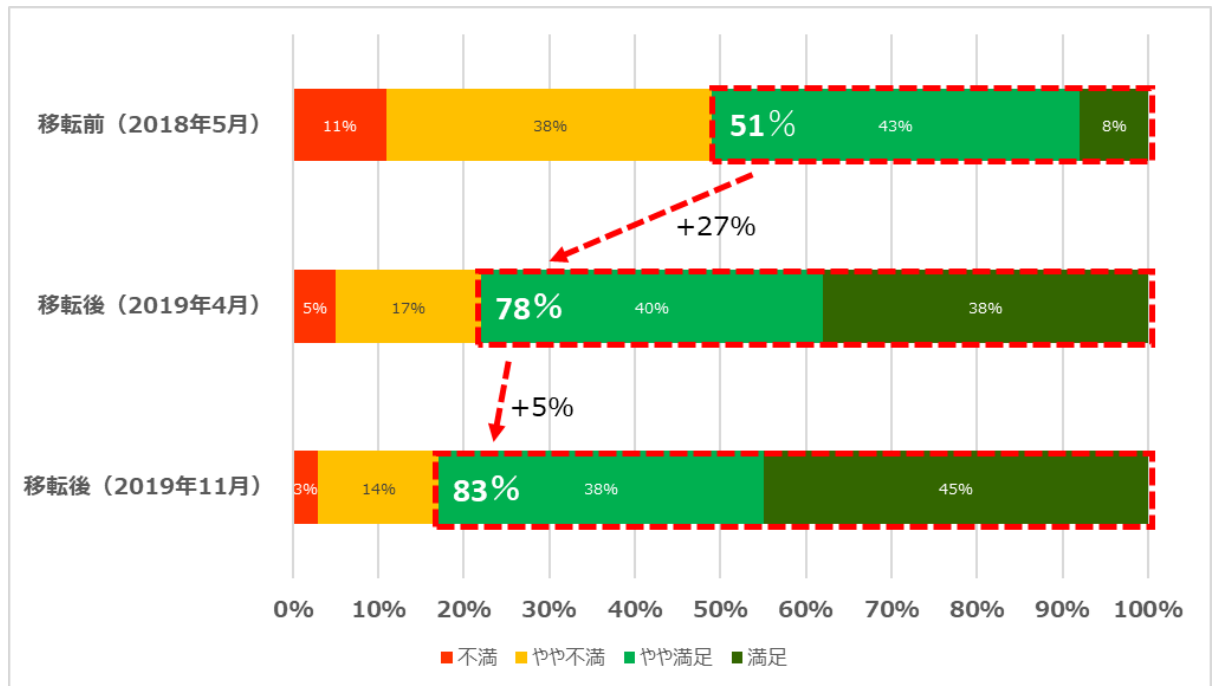
社長のジェームス・フェリシアーノは次のように述べています。「アッヴィでは一人ひとりの創造性や効率性を発揮できる環境が整いつつあります。これからも、定期的にモニタリングを行い、その結果を評価して継続的な改善を行っていきます。アッヴィでは、多様な個性を認め合う文化の下、社員が自分の判断と行動に責任を持ち、個人と組織が成長できる職場環境づくりをさらに推進していきます」

参考資料

1. ABW 導入の社員の評価

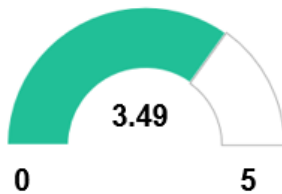
移転前(2018年5月)n=502、移転後(2019年4月)n=535、2019年11月 n=458

Q.総合的にみて、あなたは現状の職場環境に満足していますか？以下からあてはまるものを選択してください。

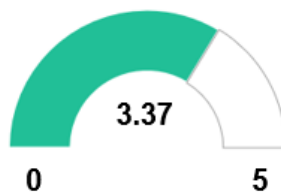


2. DFYD 導入の社員の評価 (2019年9月実施、n=202)

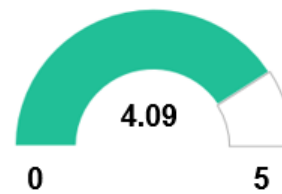
生産性が上がった



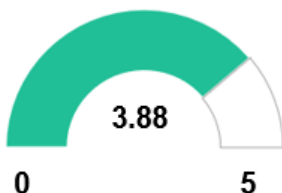
社内のコミュニケーションがしやすくなった



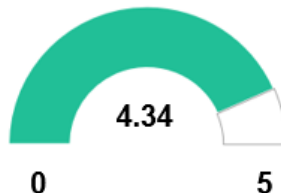
自分らしく働くことができる



ダイバーシティ&インクルージョンの取り組みをより身近に感じることができる



快適な服装でより仕事がしやすくなった





アッヴィのアクティビティ・ベース型ワークスペース(ABW)について

社員が柔軟かつ健康的な働き方を実践し成長することをサポートするアッヴィの働き方改革の一環で、2019年2月に東京本社移転を機にABWを導入しました。ABWは社員がその時々に必要な業務に対して最適なスペースを選択できることを可能にし、アッヴィでは社長も含め全員に固定席はありません。創造的かつ効率的な働き方を可能にし、部門や職位にとらわれないコラボレーションやオープンなコミュニケーションが促進されます。

「ドレス・フォー・ユア・デイ」(その日の服装をあなたがきめる)について

2019年6月1日から8月31日までの試行導入を経て、2019年9月に正式導入された新ドレスコードです。社員は毎日、ビジネスシーンにふさわしい身だしなみを心がけることを基本に、TPOに応じた適切な判断で柔軟に服装を選び、快適かつ機能的な服装で業務を行うことができます。

アッヴィについて

アッヴィは、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業です。世界で最も複雑かつ深刻な疾患に対する、革新的な先進治療薬の開発を行っています。その専門知識、献身的な社員、イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、免疫疾患、がん、ウイルスおよび神経疾患の4つの主要治療領域での治療を大きく向上させることをミッションに掲げています。世界中の人々が持つ健康上の課題への解決策を進歩させるため、75カ国以上の国でアッヴィ社員が日々取り組んでいます。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。Twitter アカウント [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

日本においては、1,200人を超える社員が、医療用医薬品の開発、輸入、製造販売に従事しています。自己免疫疾患、新生児、肝疾患、神経疾患、がんの各領域を中心に、患者さんの生活に大きく貢献できることを願っています。詳しくは、www.abbvie.co.jp をご覧ください。